

2021年 月 日

第32期（2021年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 国内研究助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の研究助成を申し込みます。（新規・継続） ←いずれかに○

1. タイトル

〇〇島に生息する絶滅危惧種XXXの現状調査と保全策の検討

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。

2. 申請団体

団体名	XXX研究グループ プロジェクトを行う <u>団体の名前</u> にしてください。大学名・学部名のみはNG。		
申請代表者 氏名	(フリガナ)シゼン タロウ	生年 月日 [年齢]	
	自然 太郎		
所属機関 ・ 役職	自然大学大学院自然研究科野生動物研究室 教授		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 いずれかに○→（自宅・○職場）		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

学生の場合は大学名と学年をお書きください。

3. 研究テーマの種類（いずれか一つ選択してください）

- 特定地域の生物、生態系、自然環境の基礎調査・研究
- 森林・干潟・藻場・河口域などの陸域、水域の適切な管理および保全に関する調査・研究
- 絶滅が危惧される動植物の調査・研究
- 国内に定着した外来種の調査・研究（国内外来種も含む）
- 現在起こっている自然保護問題の解決のための調査・研究
- 自然保護のための調査研究手法の開発・検証
- その他

複数選択しないでください。複数のテーマにまたがる場合は、「その他」を選択してください。

4. 研究の目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、何の保全を目指しているのか、何を解決しようとしているのか等、目的を明確にお書きください。

例) 〇〇島に生息する絶滅危惧種XXXの保全を目的として、◇◇の手法を用いて調査を行い、具体的な保全策の検討を行い、地域の自然保護活動に役立てる。

5. 助成申請額

100 万円

支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。

6. 助成期間（いずれかに○をつけてください）

1年間 ・ 2年間

査にのみ使用し、その他の目的では使適切に取り扱いいたします。

2年間の研究でも、助成金額は100万円上限です。

研究計画書（1）

1. 研究課題の自然保護上の重要性

(1) 本研究課題における自然保護上の重要性について、要点を200字程度で枠内にお書きください。

XXXは、〇〇島にのみ生息する固有種であり、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されているが、近年開発により個体数は激減している。保全のために長期的な調査が必要とされている。

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、本申請のポイントが一目で明確にわかるよう、適宜工夫してください。

(2) 本研究課題に取り組むこととなった背景をお書きください。

XXXは、開発による生息環境の悪化により00年前から個体数が減少している……

(3) 研究対象となる事物、地域の特徴等について、詳細をお書きください。可能であれば、研究対象地域の地図を添付してください。

XXXは～～～のような場所を好む習性があることから、調査は下記図の場所で重点的に行う。

地図

(4) 昨年度からの継続申請の場合は、継続理由もお書きください。

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

研究計画書（2）

2. 研究計画

(1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください。

12月に第1回現地調査にて、***と***を行い、XXXの####に関するデータを得る・・・
1月までにこのデータを用いて、開発事業者や自治体に提出する意見書を作成する・・・

本プロジェクトの期間内における具体的な到達目標について具体的にお書きください。

(2) 調査・研究手法をお書きください。

***を用いた◇◇法で、データ収集を行う・・・

どのような方法でデータを取得し、分析し、問題を解決するのか、お書きください。

(3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

調査地は離島のため、旅費の出費が多い。

(4) 調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

調査には野生動物研究室の学生が補助メンバーとして加わる。

- (3) と (4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。そのぶん (1) と (2) の回答スペースを広げてお書きいただいて構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

研究計画書（3）

3. 期待される成果

(1) 本研究どのような成果が期待されるのかについて、100字程度で簡潔にお書きください。

本研究でXXXに関する詳細情報を得ることで、具体的な保全策を提案することができ、個体数の回復に貢献することができる。

こちら、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

(2) 本研究は、助成期間終了後どのような自然保護研究、あるいは自然保護活動に展開していくのかについて、具体的にお書きください。

本研究で得られた成果は、一般向けのパンフレットにまとめ、〇〇島の地元住民や〇〇島を訪れる観光客への普及啓発活動に役立てる。また、オンラインによるシンポジウムを開催し、より多くの市民へ働きかけていく…

学会や論文で発表する、だけではNG。具体的に、成果をどのように地域の自然保護のために活用していくのかについてお書きください。

年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2021年 10月	情報の収集, 整理 ・XXXに関する情報の収集・整理を行う	器具・備品の購入 200,000円 消耗品費 7,000円
11月		
12月	第1回調査 (x日間) ・調査に使用する**を購入 ・***と***を行う.	
2022年 1月	・開発業者および自治体に意見書を提出する.	大まかな支出概要で構いません。具体的な費目については支出計画書にお書きください。
2月	第2回調査 (x日間) ・***と***の調査を行う	
3月	月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↓でお示しください。 行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。	
【1年間プロジェクト】中間報告書の提出		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【1年間プロジェクト】助成期間の終了／ 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出		
10月		【1年間プロジェクト】成果発表会出席旅費
11月	【1年間プロジェクト】成果報告書・会計報告書の提出	
12月		

年間スケジュール(2)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2023年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【2年間プロジェクト】助成期間の終了		
10月		
11～12月	【2年間プロジェクト】最終報告書の提出	【2年間プロジェクト】成果発表会出席旅費 30,000円

助成成果発表会旅費は必ず計上
してください。

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎	自然大学大学院	教授	責任者（申請者）
●● ●●	自然大学大学院	博士後期課程1年	副責任者
●● ●●	自然大学		会計責任者

グループの最低人数は3名とし、代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合、可能であればグループ内で会計係を設けるようにしてください。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学大学院生物学研究科自然環境学専攻 博士後期課程修了（理学博士）	学生の方は、プロジェクトに関連する経歴について書いていただいても構いません。
XXXX年 自然大学附属自然環境センター 研究員 着任	

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ-終りのページ。 様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数
b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日
c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りです。

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。

2. 現在、第32期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもお遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上・

グループとしては応募経験あり (回) ←応募回数をお書き下さい。

II 過去に、申請代表者は本助成の助成金を得たことはありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり (回) ←これまでの採択回数をお書き下さい。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト ・

友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書き下さい。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め8ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？

支出計画書(1)

プロジェクト名: _____

助成申請額

1000000円

自動的に算出されますので記入しないでください。
申請書の申請金額と相違がないようご確認ください。

団体: _____

代表者: _____

会計責任者: _____

支出計画

(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

費 目	内 訳	単 価	数 量	小 計
a.器具・備品費	センサーカメラ	¥50,000	4	¥200,000
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			¥200,000
b.消耗品費	文具一式(ペン, ノート, ...)	¥1,000	7	¥7,000
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			¥7,000
c.委託費	地域NPOへの調査委託費	¥100,000	1	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			¥100,000
d.賃金・謝金	調査協力者アルバイト料	¥8,000	7	¥56,000
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			¥56,000
e.旅費	東京 ⇄ ○○島 (往復航空券)	¥50,000	4	¥200,000
	宿泊費	¥10,000	20	¥200,000
	レンタカー+ガソリン代	¥20,000	5	¥100,000
				¥0
	(合計)			¥500,000
f.交通・通信・運搬費	資料の送付代	¥1,000	5	¥5,000
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			¥5,000

価格は消費税込みの概算で記入して下さい。商品名や品番・型番は書かなくて結構です。

細かい消耗品が多く記入欄が足りなくなる場合はこのようにまとめて書いてください。

c. 委託費とd. 賃金・謝金に関しては、上限はありませんが、予算の大半を占める場合は、グループメンバー主体の活動ではないと見なされることがありますのでご注意ください。

※記入欄が足りない場合は、行を追加して、不要な行を削除して記入して下さい。

支出計画書(2)

費 目	内 容	単 価	数 量	金 額(円)
g.図書・資料費	書籍	¥2,000	5	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			
h.印刷費	資料のコピー代	¥10	1000	¥10,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			
i.会議費	会議室借用費	¥10,000	3	¥30,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			
j.借用費	分析用機器	¥10,000	5	¥50,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			
k.雑経費	振込手数料	¥400	5	¥2,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
	(合計)			
l.助成成果発表会出席 経費	大阪⇄東京(往復)	¥30,000	1	¥30,000
				¥0
				¥0
(合計)				¥30,000
助成申請額合計				¥1,000,000

助成成果発表会には必ずご出席ください。そのため
の旅費は必ずこちらに計上してください。なお、
発表者1名分のみ計上してください。